

こんにちは 日本共産党県議団です

いあさけん

村井知事の任期中で最後の議会となった六月議会は、六月十七日から七月二日まで開かれ、日本共産党県議団からは、四名が一般質問に立ち、暮らしや雇用、福祉、教育、交通政策の充実等を求めました。

また、民主党政権の「事業仕分け」等で大幅に削減された、公共交通活性化対策や野性鳥獣被害対策予算の復活及び県独自の支援等を求めて、議会前の申し入れを行いました。



(右から)びぜん光正、高村京子、石坂ちほ、小林伸陽、藤沢のり子、もうり栄子、和田あき子県議

6月議会前の知事への申し入れ (6月3日)

一般質問から

国道117号丹波島橋南の渋滞解消に向けて

和田あき子議員は「国道117号線はバス専用レーンの時間帯は1車線となり慢性的な渋滞が起きている。新しい橋の増設など抜本的な検討を」と質しました。建設部長は「力強いご提言として承らせていただきます。」と応じました。また、企画部長には「公共交通の利用促進のためにどう考えているか」と質しましたが、「まずは市町村が住民と一緒に考えていただくことが必要」と県の責任をのがれる答弁でした。

点字図書館に支援を ⇒ 相談があれば検討

高村京子議員は「上田点字図書館は、県身体障害者福祉協会が上田市に運営を委託し、上田市も人的・財政的に一定の負担をしているが、県内各地及び他県からも利用者がいる。県として支援できないか」と質問。桑島健康福祉部長は「関係者から相談があれば、共に検討していきたい」と答えました。



高村議員は、盲導犬等の検診がどこの地域でも無料で受けられる仕組みも求めました。

女性保護施設の保育士は来年度以降も配置を

和田あき子議員は、中央児童相談所の専門職員体制を強化しよう県を質しました。桑島健康福祉部長は「職員の配置増は考えていない」と答えたため和田議員は「移転改築に伴ってぜひ増員してほしい」と念を押し、さらに女性保護施設で親に伴われて保護する子どものための保育士を、来年度以降も配置しよう求めました。健康福祉部長は「本年度の効果等をふまえ、検討して参りたい」と前向きに応じました。

税金の滞納整理の現場でゲート・キーパー研修を

税金の滞納整理に当たる職員が、滞納の原因となっている県民の生活実態に寄り添い、親身な対応で解決が図られるよう、先進地で行われているゲート・キーパー研修を提案してきましたが、総務企画委員会での石坂ちほ議員の質問に対し、今年度、税務課として担当職員へのゲートキーパー研修を実施するとの答弁がありました。

教職員の長期療休



⇒ 問題意識を持っている

もうり栄子議員は「県教委の統計で、60人に1人が長期療養・休職。中でも精神疾患の占める割合が多い。正規職員を増やし、教師一人当たりの負担を軽くすべき」と質問しました。山口教育長は「多様な児童生徒に対する指導等質的变化が背景にある。強い問題意識を持っている」とし、矢崎教育委員長は「手が多くなるほど(教師の)余裕が出てくるので国へ要望したい」と答えました。

完成後5年

地すべり対策が続く「滝沢ダム」(埼玉県秩父市)を視察(5月7日)

今も尚、地すべり対策工事(1箇所10億円) 工事総額は2,300億円



遅霜被害の梨畑を調査

(6月4日・中川村)



石坂ちほ
長野市



小林伸陽
上伊那郡



藤沢のり子
松本市



高村京子
上田市・小県郡



もうり栄子
岡谷市・下諏訪町



びぜん光正
塩尻市



和田あき子
長野市